

取扱説明書

DAYTONA

*取り付けする前に必ずお読み頂き、内容をよく理解して正しくお使いください。

*この取扱説明書は、いつでも取り出して読めるよう大切に保管してください。

*この商品もしくはこの商品を取り付けた車両を第三者に譲渡する場合は、必ずこの取扱説明書も併せてお渡しください。

DT-KIKUDAKE	適応車種	商品NO.
	汎用	14982

*ご使用前に取扱説明書を必ずお読み頂き、内容をよく理解して正しくお使いください。

■ ご使用前に必ずご確認ください ■

- ※ 取扱説明書内の注意事項を守らざる使用した事による事故や損害について、当社では一切の責任は負いません。
- ※ 商品の保証については保証書裏面の保証規定に沿って行っております。保証内容をご理解のうえ、大切に保管してください。

本書では正しい取り付け、取扱方法および点検整備に関する重要な事項を、次のシンボルマークで示しています。

⚠ 警告 要件を満たさずに使用しますと、死亡または重傷に至る可能性が想定される場合を示しております。

⚠ 注意 要件を満たさずに使用しますと、傷害に至る可能性または物的損害の発生が想定される場合を示しております。

 実施	行為を強制したり指示する内容を告げるものです。	 禁止	禁止の行為であることを告げるものです。
 分解禁止	表記の禁止行為を告げるものです。	 水ぬれ禁止	表記の禁止行為を告げるものです。
 法令違反	条件次第では法令違反となることを告げるものです。	 その他	その他の警告及び注意を告げるものです。

⚠️警告



禁止

- 航空機内、空港敷地内、中継局周辺、病院内では絶対に使用しないでください。(電源も入れないでください。) 運行の安全、無線局の運用や放送受信に支障をきたしたり、医療機器が故障、誤動作する原因となります。
- 病院等の医療機関では電源を切ってください。医療向け計測器、心臓ペースメーカー等の近くでは使用しないでください。医療機器へ悪影響を及ぼす恐れがあります。
- 大音量で使用しないでください。周囲の交通の音が聞こえる音量でご使用ください。事故の原因になる恐れがあります。
- 雷鳴が聞こえた場合、ただちに使用を中止し、安全な場所へ避難してください。落雷や感電に見舞われることがあります。
- 本ユニットは単4型乾電池（AAA）1本で作動します。単4型乾電池以外の電源を使用しないでください。
- 分解、改造、修理をしないでください。火災、怪我、感電、故障の原因となります。修理の場合は、弊社またはお買い求めの販売店にご相談ください。



分解禁止

⚠️注意



実施

- 使用中、保管時に異臭、発熱、変色、変形などが発生した場合は、ただちに使用を中止し、弊社またはお買い求め販売店にご連絡ください。
- 高温多湿になる場所、熱器具等の近くでの使用放置は避けてください。本体の変形、発熱、発火、破裂、感電、故障の原因となります。
- ボリュームの設定に気を付けてください。突然の大音量、継続的大音量は鼓膜の損傷や難聴の原因となります。
- 気温の低い場所から、室内等へ移動した場合、本体内部に結露が発生する場合があります。そのまま使用すると発熱、発火、破裂、感電、故障の原因となります。
- 自動ドアや火災報知機の近くでは使用しないでください。自動ドアや火災報知機が誤作動する場合があります。
- 本商品の電波が他の通信機器等に影響を与えている場合、ただちに電源を切り、影響を与えない場所でご利用ください。
- 本体は走行中にヘルメットから落下しないように確実に取り付けをしてください。
- 本体に強い衝撃を与えないでください。故障の原因になります。
- 油類を付着させないでください。ガソリンやオイル等が付着すると、表面の劣化や故障の原因となります。
- ケーブル類は、運転の支障のないように、引き廻しを行ってください。運転操作の妨げになるばかりでなく交通事故をおこす原因になります。



実施

- 本体に手を掛けてヘルメットを持ち運ばないでください。本体が破損するばかりでなく、本体が外れてヘルメットを落下させる恐れがあります。
- 接続コネクターは、コネクターを持って確実に抜き差ししてください。ケーブルを引っ張ると破損や故障の原因となります。
- 本製品を取り付けた状態でヘルメットを置く際は、本体に衝撃を与えないように注意してください。
- 運転中にスイッチの操作や、音量調整等は大変危険です。絶対に行わないでください。スイッチ操作や、音量調整をする場合は、必ず車両を安全な場所へ停車(駐車)してから行ってください。交通事故の原因になります。



水ぬれ禁止

- 水がかかる場所への放置や水没はさせないでください。本製品は防滴仕様(IP65相当)につき、長時間にわたり水がかかる状態での使用は浸水による故障(保証対象外)の原因となります。特にスピーカーは水に濡らさないようにご注意ください。また、濡れた手で接続端子等の脱着は行わないでください。本体の発熱、発火、破裂、感電、故障の原因となります。
- お客様の誤った取り扱いが原因の浸水による故障は、保証対象外となりますので、予めご了承ください。



法令違反

- 本製品は電波法に基づく技術基準適合証明を受けています。日本国内以外で使用する場合、使用する国の電波法に従い利用してください。
- 運転中の使用に関しましては、事前に使用地域の法律条例等をよくご確認ください。



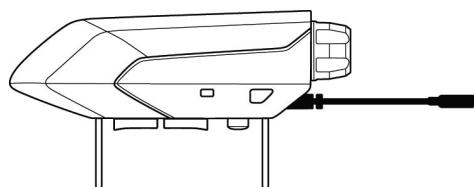
その他

- 乳幼児の手の届かない場所に保管してください。付属品を誤って飲み込んだり、怪我の原因となります。
- 本製品に作動対応している携帯電話機や音楽プレーヤー等以外の機器に接続しないでください。本製品または接続している機器の故障の原因になります。
- 接続する音楽プレーヤーやナビゲーションにより、接続ができても機器同士の相性などの問題により音楽や音声案内が本製品のスピーカーより聞こえない場合があります。予めご了承ください。
- 音量の調整をおこなっても「聞こえにくい、聞こえない」等の症状がある場合、スピーカー位置の不良や乾電池の消耗が考えられます。スピーカーの位置調整または乾電池の交換をおこなってください。
- 単4型乾電池(×1本)は付属しておりません。別途お買い求めください。
- FMラジオは、放送エリア内であっても、建物や地形などの影響によって受信できない場合があります。

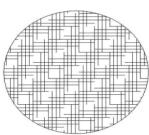
本商品の特徴

- FM ラジオ搭載。(ワイド FM 対応)
- 市販の Bluetooth 搭載ミュージックプレイヤーやナビゲーション、レーダーをワイヤレスで接続が可能。
- バッテリーは、突然のバッテリー切れでも入手しやすい単4型乾電池（1本）を使用。
※充電式乾電池の使用も可能ですが、駆動時間はアルカリ電池と比べて短くなります。
- 小型で薄型のスピーカーを採用し、接続機器がステレオ対応機器であればステレオ再生が可能。
- 使用時間は、音楽再生連続最大で約 8~12 時間可能（アルカリ乾電池使用の場合）。
※使用する乾電池の種別、音楽再生音量の大小、外気温など使用環境により変化します。
- フルフェイス、ジェットヘルメットとともに無加工で取り付け可能。
※一部の外国製ヘルメットを除く。
- プロファイルは、HSP、HFP、A2DP (AVRCP) に対応。
※プロファイルが一致している Bluetooth 機器であっても接続できない場合があります。
- 突然の雨にも安心な防滴仕様。（IP67 相当）
※長時間にわたり水がかかる状態での使用は、浸水による故障（保証対象外）の原因となります。

商品内容



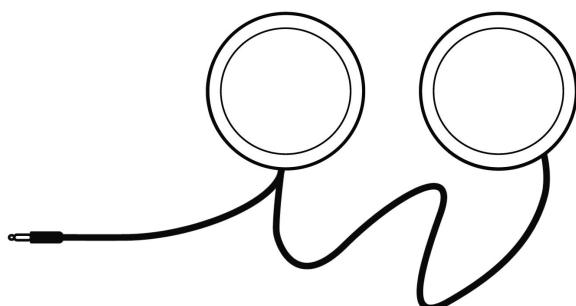
・DT-KIKUDAKE 本体



・スピーカー固定用
面ファスナー×2枚



・スピーカー位置調整用
スポンジ×2枚

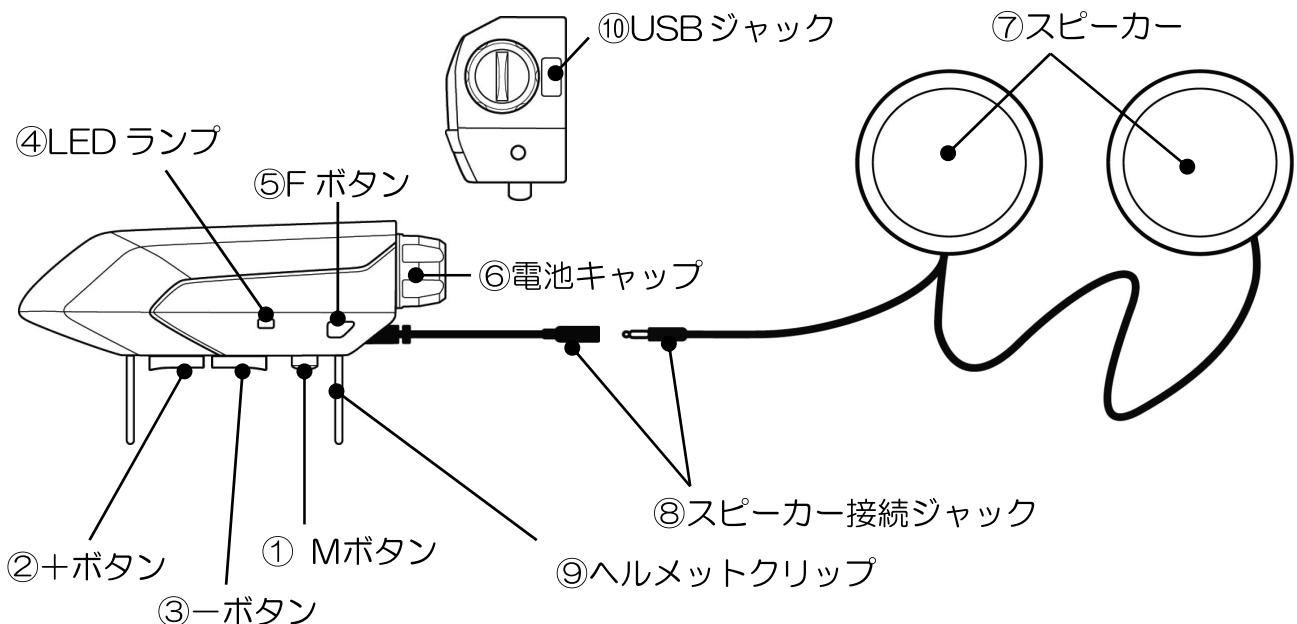


・スピーカー



・ヘルメット固定用面ファスナー
(オス/メス セット)

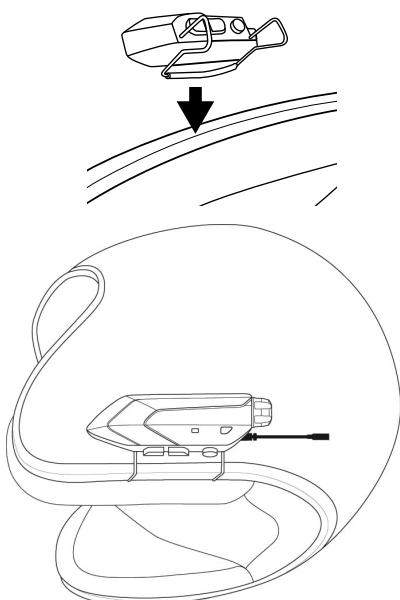
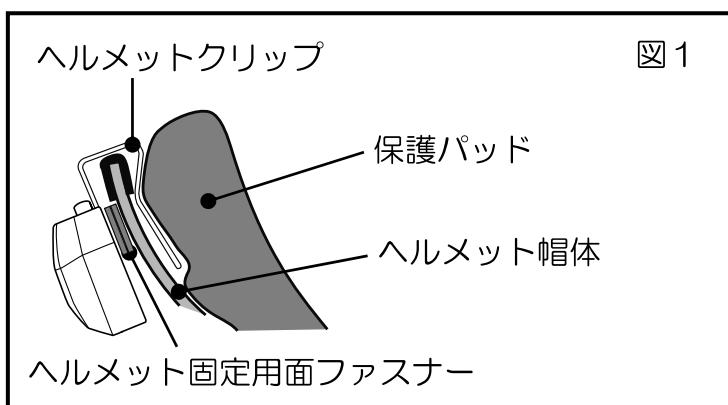
本体の名称と機能



- ① Mボタン…電源のON/OFF、ペアリング、音楽の再生停止。
- ② +ボタン…音量を大きくする。音楽の曲送り、チャンネル送り、チャンネルの保存。
- ③ -ボタン…音量を小さくする。音楽の曲戻し、チャンネル戻し、チャンネルの消去。
- ④ LEDランプ…赤、青のLEDで作動状態を表示。
- ⑤ Fボタン…FMラジオのON/OFF、チャンネルスキャンの開始/停止。
- ⑥ 電池キャップ…乾電池の出し入れに使用。
- ⑦ スピーカー…直径40mm、厚さ10mmの薄型高音質ステレオスピーカー。
- ⑧ スピーカー接続ジャック…本体とスピーカーを接続するDT-KIKUDAKE専用ジャック。
※Φ2.5、四極専用端子です。市販のスピーカーは接続できません。
- ⑨ ヘルメットクリップ…本体をヘルメットへ固定するためのクリップ。
※クリップは本体から取り外し可能です。ヘルメット固定時に本体からクリップが外れ
ヘルメットの淵が厚く、ヘルメットクリップが使用できない場合は取り外してヘルメット
固定用面ファスナーのみでヘルメット固定してください。
- ⑩ USBジャック…ファームウェアのアップデート時に使用。
※ファームウェアのアップデート時以外には使用しません。通常は（雨天時は特に）必ずゴム蓋を閉めてご使用ください。

取り付け方法

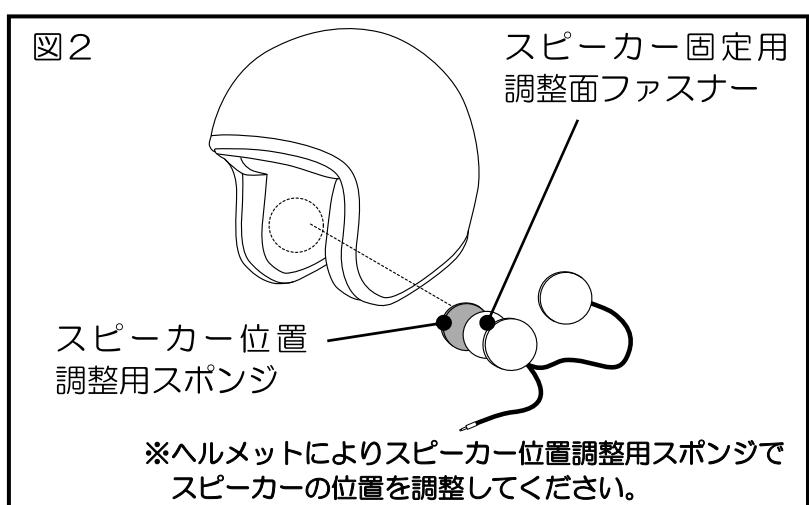
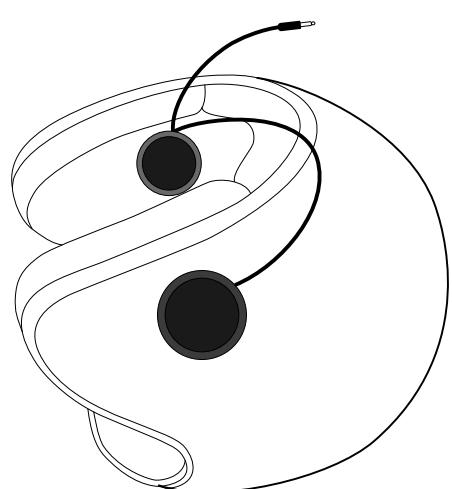
- ① 本体裏側にヘルメット固定用面ファスナー(オス)を貼り付け、その上に面ファスナー(メス)を重ね、メス側のはく離紙を剥がしておきます。
- ② 本体のヘルメットクリップを軽く広げ、ヘルメット左側の帽体と内装の間にヘルメットクリップを奥まで差し込み、位置を調整したうえで本体裏側のヘルメット固定用面ファスナーをヘルメットに押しつけ、本体を固定します。(図1参照)
※クリップは本体から取り外し可能です。ヘルメット固定時に本体からクリップが外れてしまう場合がありますが異常ではありません。元通りに本体へクリップをつけ直してご使用ください。
※ヘルメットの淵が厚く、ヘルメットクリップが使用できない場合は取り外してヘルメット固定用面ファスナーのみでヘルメット固定してください。
※本体裏側の面ファスナー(メス)は、接着剝がれのないよう全体をしっかりとヘルメットに押しつけてください。



- ③ ヘルメット左右の保護パッドを取り外し、スピーカーがヘルメットを被った時に耳の位置にくるようにスピーカー固定用面ファスナーで固定します。

▲注意

- ※スピーカーが耳から離れると音の聞こえが悪くなります。使用するヘルメットに合わせてスピーカー位置調整用スポンジを使用してスピーカーが耳へ近づくように位置を調整してください。(図2参照)
- ※内部に耳当てがあるタイプのヘルメットでは、スピーカーを内装に組み込むことにより違和感がなくなる場合があります。



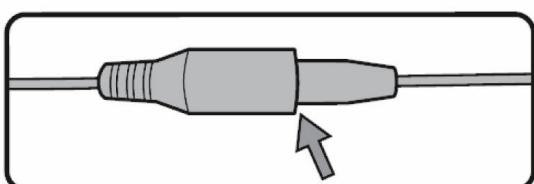
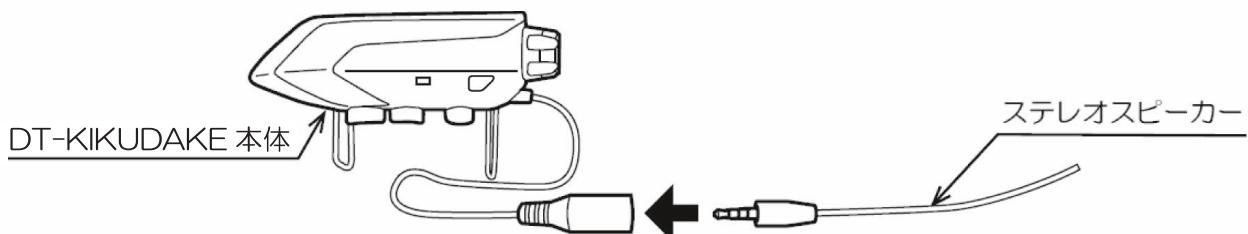
※ヘルメットによりスピーカー位置調整用スポンジでスピーカーの位置を調整してください。

- ④ 本体とスピーカーのジャックを接続します。

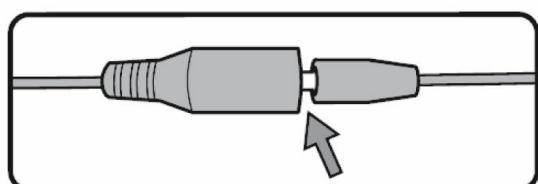
⚠️スピーカー差し込みジャックについて⚠️

ご注意！

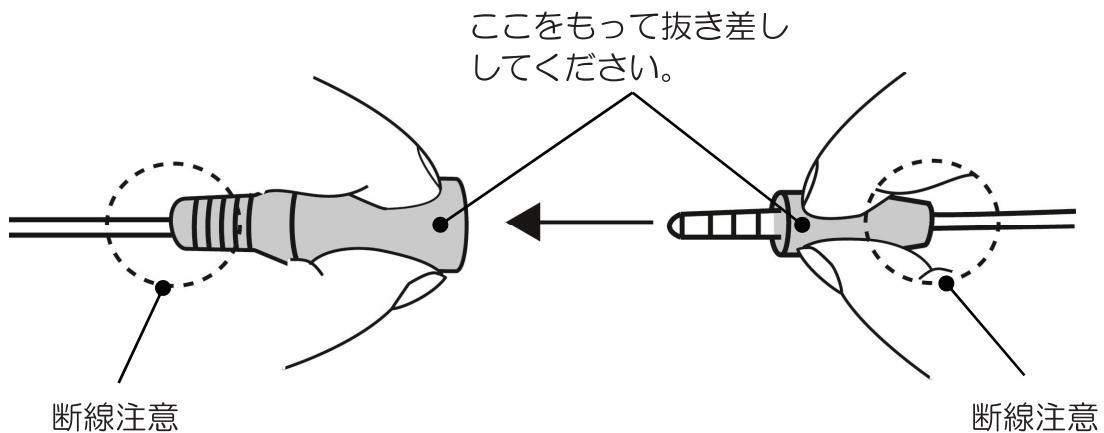
DT-KIKUDAKE のスピーカー差し込みジャックは差し込みが固めです。
正規の位置まで挿入されていないと片側からしか音声が聞こえないことや音声が途切れで聞こえることがあります。



スピーカー差し込みジャックと
ピンジャックの間に隙間が無いこと。



スピーカー差し込みジャックと
ピンジャックの間に隙間があります。



※本体とスピーカーの接続ジャック部分は防水仕様になっておりません。ジャック接続後はヘルメット内部に入れるようにしてください。

●乾電池をセットする

- ① 電池キャップを反時計回りに回し、本体から電池キャップを取り外します。(下図参照)
- ② 単4型乾電池(AAA)の極性を間違えないように注意し、本体へ乾電池をセットします。(下図参照)
- ③ 単4型乾電池のプラス側を押さえるように電池キャップを本体にあてがい、時計回りに回して電池キャップを確実に閉めます。(下図参照)

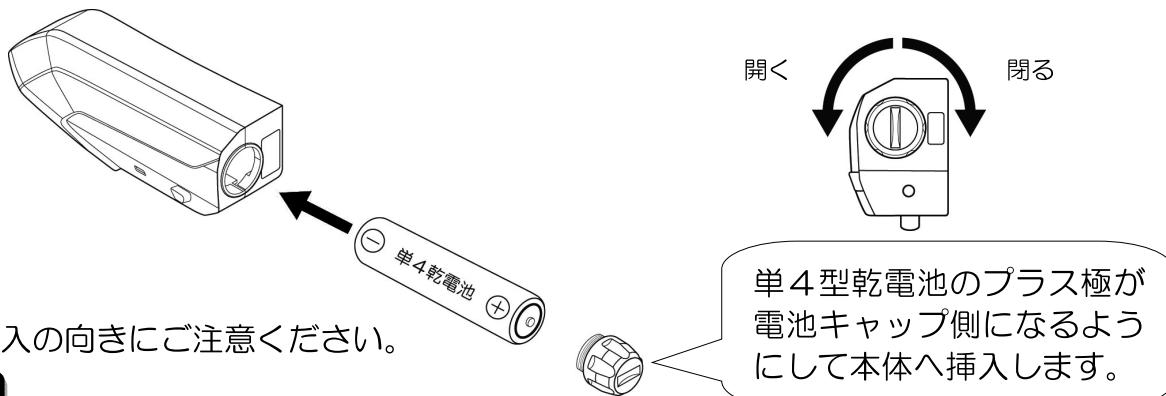
▲注意

※充電式乾電池の駆動時間は短いため、アルカリ乾電池の使用を強くお勧めします。

※乾電池の極性を必ず確認し、+・-を確認し、正しくセットしてください。極性を誤ると故障の原因になります。

※電池キャップの締め過ぎにご注意ください。本体破損の原因になります。

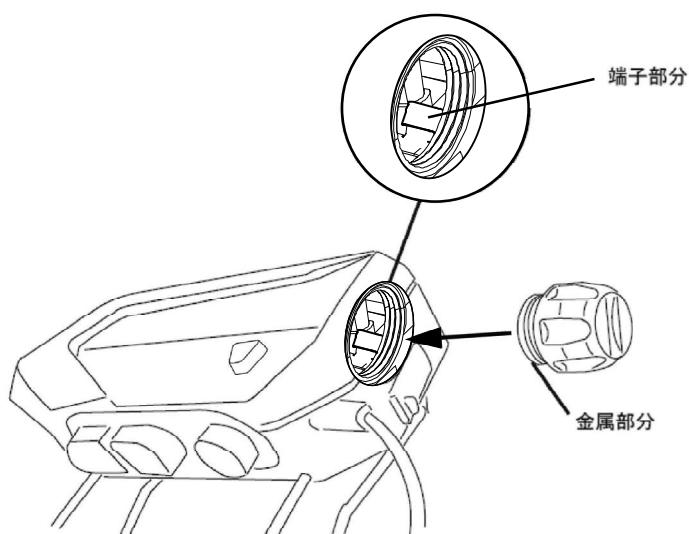
※外装のはがれた乾電池を使用しないでください。



※電池插入の向きにご注意ください。

ご注意！

電池キャップの金属部分が、内部の端子に接触する構造のため、電池の出し入れ等により、端子が変形する場合があります。電池の極性を正しくセットした状態で電源が入らない（入らなくなった）場合は、図の端子が曲がっていないかご確認ください。



・乾電池の残量について

乾電池の残量が低下すると LED ランプが青点滅から赤点滅に変わり、約5分間隔で「ポー、ポー、ポー」と電子音でお知らせします。

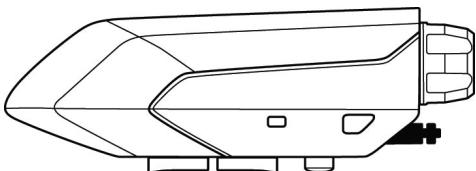
残量低下を知らせる電子音が聞こえたら早めの乾電池の交換をお勧めします。

※乾電池の寿命は、種別・使用環境により異なります。

※使用する乾電池の種類や使用する環境や音量により、電子音が聞こえる前に電源がOFFになる場合があります。充電式乾電池をご使用の場合は特にこの傾向があるためご注意ください。

DT-KIKUDAKE ができる事

DT-KIKUDAKE



Bluetooth 接続

・FM ラジオを聴く

ミュージックプレイヤー・スマートフォン・
ナビゲーション・レーダー

- ・スマートフォンで音楽やナビの案内を聴く
- ・ナビゲーションの案内を聴く
- ・ミュージックプレイヤーで音楽を聴く
- ・レーダーの警告音を聴く

※携帯電話を接続し、着信があっても電話は自動的に拒否され通話をすることができません。着信拒否時の動作は、携帯電話の機種により異なります。
またLINE通話は使用できません。

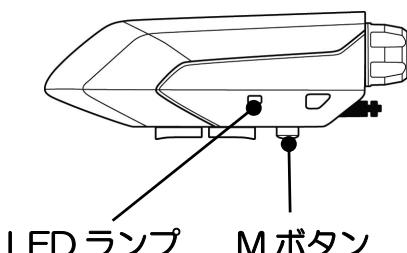
本体電源の ON/OFF

●電源 ON

M ボタンを約2秒間押し続けます。LED ランプが青点灯しスピーカーから「電源が入りました」の音声案内が流れます。

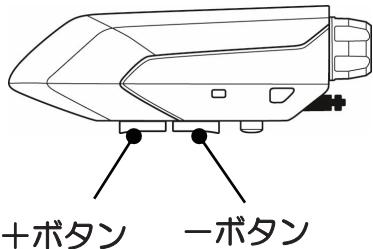
●電源 OFF

M ボタンを約2秒間押し続けます。LED ランプが赤点灯しスピーカーから「電源を切れます」の音声案内が流れ、ファームウェアバージョンをお知らせした後、電源が OFF になります。



ボリュームコントロール

スピーカーより音が聞こえている時のみ調整可能。一ボタンまたは十ボタンを1回押すごとに音量が変化します。音量が最大または最少まで行くと「ピー」という電子音がします。



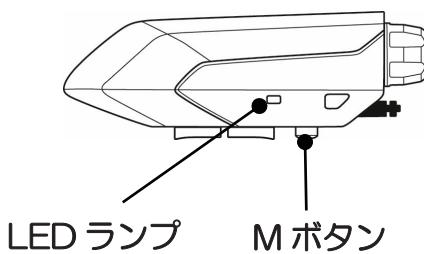
※接続する機器により音量調整ができない場合があります。その場合は、接続する機器側で音量調整してください。

※Bluetooth 機器側で音量制限/ 音量自動調整などの機能がON になっていると音量の調整が正しくできません。曲が変わるたびに音量が下がる(または上がる)、再生音量が波打つように上下するなどの症状が出る場合は、Bluetooth 機器側の音量制限/ 音量自動調整などの機能設定を今一度ご確認ください。DT-KIKUDAKE にはそのような症状を生み出す機能はありません。

Bluetooth ペアリング(ミュージックプレイヤー等と接続する)

●DT-KIKUDAKE の操作

電源 OFF の状態で、LED ランプが赤/青交互に点滅するまで M ボタンを約 5 秒間押し続けます。ペアリングモードへの移行ができた場合は、「電源が入りました」「ペアリングを開始します」と音声案内が聞こえます。



●Bluetooth 機器側(ミュージックプレイヤー、スマートフォン、ナビゲーション、レーダー)の操作

DT-KIKUDAKE がペアリングモード(LED ランプが赤/青交互点滅)の状態で、接続する Bluetooth 機器側の Bluetooth 設定を ON にして、登録可能機器リスト(デバイス)から「DT-KIKUDAKE」を選択します。ペアリングが完了すると、スピーカーから「ペアリング完了」と音声案内が聞こえ、LED ランプが青点滅に変化します。

※PIN コードが必要な場合は「0000」(ゼロ4つ)を入力します。

ペアリング済みの Bluetooth 機器と接続する

ペアリング済みの Bluetooth 機器との接続には、①「自動接続」②「マニュアル接続」③「Bluetooth 機器側の操作で接続」の 3 種類の方法があります。通常は①の方法で接続します。①の方法では接続できない場合に、②③の方法をお試しください。Bluetooth 機器と接続されると、スピーカーから「接続しました」の音声案内が聞こえます。

●①自動接続

1.DT-KIKUDAKE の電源を ON にします。

⇒P.9 「本体電源の ON/OFF」 参照

スピーカーから「電源が入りました」の音声案内が流れた後、LED ランプが青 2 回点滅し、ペアリング済みの Bluetooth 機器を数秒間自動で探しします。

2. ペアリング済みの Bluetooth 機器の電源または Bluetooth を ON にします。

⇒詳しくは Bluetooth 機器側の取扱説明書をご参照ください。

3. 「自動接続」が完了すると、LED ランプが青 3 回点滅し、スピーカーから「接続しました」と音声案内が聞こえます。

※A2DP プロファイルのみが接続の場合 LED ランプが青 1 回点滅。

●②マニュアル接続

①「自動接続」ができなかった場合、以下の方法で②「マニュアル操作接続」を行います。

①「自動接続」の手順 2 の状態から、DT-KIKUDAKE の M ボタンを短く 1 回押します。

●③Bluetooth 機器側の操作で接続

①「自動接続」および②「マニュアル接続」での再接続ができなかった場合、以下の方法で③「Bluetooth 機器側の操作で接続」を行います。

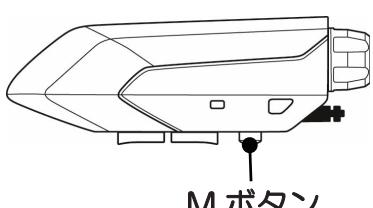
①「自動接続」の手順 2 の状態から、Bluetooth 機器側の Bluetooth 設定を確認し、登録機器リスト（デバイス）の中から「DT-KIKUDAKE」を選択します。

⇒詳しくは Bluetooth 機器側の取扱説明書をご参照ください。

音楽再生の操作

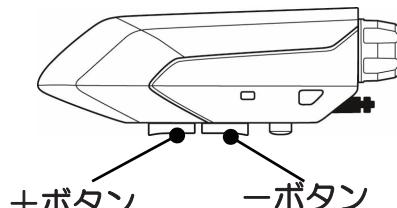
●再生/一時停止

M ボタンを 2 回押すごとに「プレイ」「ポーズ」の音声案内が聞こえて再生 ⇄ 一時停止を繰り返します。



●曲送り/曲戻し

+ボタンを 2 回押すと「曲送り」の音声案内が聞こえて曲送りします。-ボタンを 2 回押すと「曲戻し」の音声案内が聞こえて曲戻します。



2台目のBluetooth機器とペアリング（マルチペアリング方法）

1台目のBluetooth機器とのペアリングが完了した後、DT-KIKUDAKEと1台目の機器の電源を一旦OFFにし、以下の手順で2台目のBluetooth機器とペアリングします。

●DT-KIKUDAKEの操作

DT-KIKUDAKEをペアリング開始の状態にします。

⇒P.10「Bluetoothペアリング(DT-KIKUDAKEの操作)」参照

●Bluetooth機器側（ミュージックプレイヤー、スマートフォン、ナビゲーション、レーダー）の操作

接続したい2台目の機器の操作。

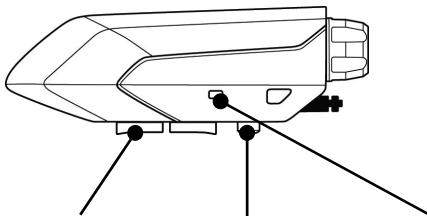
⇒P.11の「Bluetoothペアリング(Bluetooth機器側の操作)」参照

※2台目のBluetooth機器とのペアリングが完了した後、1台目のBluetooth機器の電源をONにし、2台の機器とDT-KIKUDAKEが全て接続されていることを必ずご確認ください。

ペアリング情報のリセット

接続したBluetooth機器のペアリング情報を、DT-KIKUDAKEから全て消去することができます。

電源OFFの状態で、Mボタンと+ボタンと一緒に約5秒間押し続けます。LEDランプが赤5回点滅し、スピーカーから「オールリセットしました」の音声案内が聞こえたらペアリング情報のリセット完了です。



+ボタン Mボタン LEDランプ

FMラジオのON/OFF

●FMラジオON

電源ONの状態で、Fボタンを約2秒間押し続けます。スピーカーから「FMオン」の音声案内が流れます。

※チャンネルが保存されていない場合は、上記操作でチャンネルスキャンが自動で開始されます。

※ペアリングしたBluetooth機器で音楽再生等をしている状態では、Fボタンを約2秒間押し続けてもFMラジオをONにすることはできません。

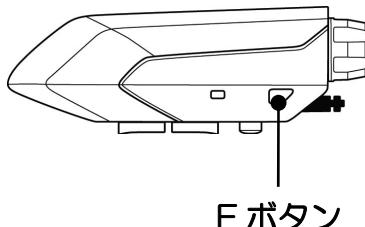
※Bluetooth機器の音楽からFMラジオに切り替える場合は、音楽を停止してから約10秒程時間をあけてからFボタンを操作してください。

※FMラジオの放送エリア内であっても、建物や地形などの影響によって受信できない場合があります。

●FM ラジオ OFF

電源 ON の状態で、F ボタンを約 2 秒間押し続けます。スピーカーから「FM オフ」の音声案内が流れます。

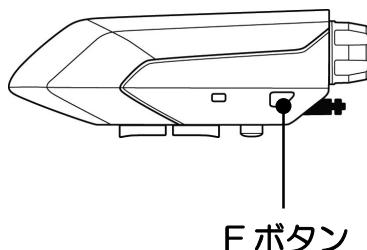
※チャンネルが保存されていない場合は、F ボタンを 2 回連続で押してチャンネルスキャンを中止することで、FM ラジオが OFF になります。



FM ラジオの操作

●チャンネルスキャンの開始/停止

FM ラジオ ON の状態で、F ボタンを 2 回連続で押すと、スピーカーから「FM チャンネルスキャン」の音声案内が流れ、チャンネルスキャンを開始します。チャンネルスキャン中に F ボタンを 2 回連続で押すと、スピーカーから「チャンネルスキャン中止」の音声案内が流れ、チャンネルスキャンが停止します。

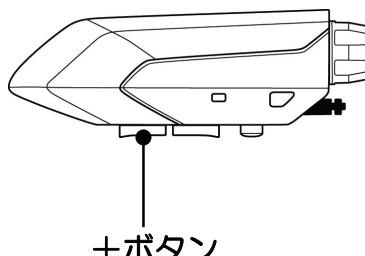


※チャンネルが保存されていない場合は、FM ラジオを ON するとスピーカーから「FM チャンネルスキャン」の音声案内が流れ、チャンネルスキャンが自動で開始されます。

※チャンネルスキャンは、チャンネルを保存しなければ繰り返しチャンネルスキャンをし続けます。

●チャンネルの保存

FM ラジオを聞くためには、受信可能なラジオ局を DT-KIKUDAKE に保存する必要があります。FM ラジオ局は 10 チャンネル保存することができます。スキャン中にラジオ局を受信したら、約 5 秒以内に + ボタンを 1 回押してください。受信ラジオ局の保存ができた場合は、スピーカーから「チャンネルの保存」の音声案内が流れます。

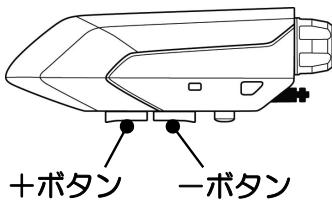


※チャンネルは、DT-KIKUDAKE に保存した順に自動で 1~10 にチャンネル番号登録されます。

※チャンネルスキャンは、チャンネルを保存しなければ繰り返しチャンネルスキャンをし続けます。

●保存したチャンネル局の送り/戻し

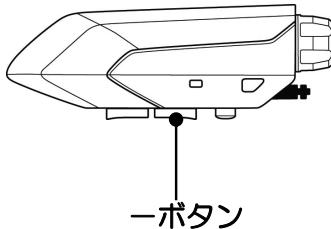
ーボタンまたは+ボタンを2回押すごとに、スピーカーから「チャンネル〇(チャンネル番号)、〇〇.〇(周波数)」の音声案内が流れ、保存したチャンネルのラジオ局の送り/戻しができます。



※チャンネル局の変更は、誤作動を防止するため1チャンネルごとチャンネルが変わったことを確認してから次のチャンネルへ変更してください。

●保存チャネル局の消去

保存したチャンネル局は、DT-KIKUDAKE から 1 つひとつ消去できます。FM ラジオが ON の状態で、消去するチャンネル局を選択し、ーボタンを約5秒間長押しします。チャンネルの消去ができた場合は、スピーカーから「保存チャネル1件消去しました」の音声案内が流れます。

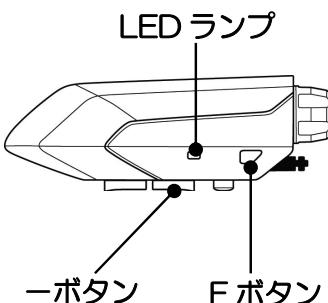


※保存チャネルを一つ消去すると、以降に保存したチャンネル番号が自動で繰り上がって再登録されます。

例：DT-KIKUDAKE に保存したチャンネルが 1～3 まで 3 件あった場合、2番目に保存したチャンネルを消去すると、3番目に保存されていたチャンネル 3 が自動でチャンネル 2 になります。

●保存チャネルの全消去

保存したチャンネル局を 1 回の操作で全て消去することができます。FM ラジオが ON の状態で、F ボタンとーボタンと一緒に約 5 秒間長押しします。保存されたチャンネルが全て消去ができた場合は、スピーカーから「保存チャネル全て消去しました」の音声案内が流れ、LED ランプが赤 3 回点滅します。



※保存チャネルの全消去を行った後は、電源 ON の状態で FM ラジオを ON にすると、チャンネルスキャンが自動で開始されます。

⇒P.12 の「FM ラジオの ON/OFF」参照

LED 点灯パターンと操作一覧表

	項目	LED 表示	操作
1	電源ON	青：点灯	電源がOFFの状態で約2秒Mボタン長押し
2	電源OFF	赤：点灯	約2秒Mボタン長押し
3	待機状態（未接続）	青：2回点滅	—
4	待機状態（接続済み）	青：3回点滅または1回点滅	—
5	ペアリングモード	赤/青：交互点滅	電源がOFFの状態で約5秒Mボタン長押し
6	ペアリング完了	赤/青交互点滅→青点滅	—
7	ペアリング済み機器との再接続（マニュアル接続）	—	Mボタン短押し
8	ボリュームアップ	—	+ボタン短押し
9	ボリュームダウン	—	-ボタン短押し
10	再生	—	Mボタン2回押し
11	一時停止	—	Mボタン2回押し
12	曲送り	—	+ボタン2回押し
13	曲戻し	—	-ボタン2回押し
14	ペアリング情報のリセット	赤：5回点滅	電源がOFFの状態でMボタンと+ボタンと一緒に約5秒長押し
15	FMラジオのON	—	約2秒Fボタン長押し
16	FMラジオのOFF	—	約2秒Fボタン長押し ※チャンネルスキャン中はFボタン2回押し
17	チャンネルスキャン	—	Fボタン2回押し
18	チャンネルスキャンの停止	—	Fボタン2回押し
19	チャンネルの保存	—	受信中5秒以内に+ボタン短押し
20	チャンネルスキャン送り	—	+ボタン2回押し
21	チャネルスキャン戻し	—	-ボタン2回押し
22	保存チャンネルの消去	—	消去するチャンネルで約5秒-ボタン長押し
23	保存チャンネルの全消去	赤：3回点滅	FMラジオがONの状態でFボタンと-ボタンと一緒に約5秒長押し

故障かな?と思ったら

症状	チェックポイント	解決方法
電源が入らない	乾電池の極性は正しくセットされていますか?	乾電池の極性を確認してください。(P.8 参照)
	乾電池は消耗していませんか?	新しい乾電池に交換してください。
	乾電池キャップはしっかりと取り付けられていますか?	キャップを正しくセットしてください。
	電池キャップの端子は変形していませんか?	端子の変形を修正する。(P.8 参照)
電池の駆動時間が短い	マンガン電池または充電式乾電池を使用していませんか?	アルカリ電池をご使用下さい。
ペアリングができない	DT-KIKUDAKE がペアリングモードになっていますか?	ペアリングの操作方法を確認して再度ペアリングの操作をしてください。(P.10 参照)
	接続する機器がペアリングモードになっていますか?	接続機器の取扱説明書を確認してください。
	接続する機器は、パスキー「0000」ですか?	
	接続する機器のプロファイルは本商品に対応したプロファイルですか?	
	近くにその他の Bluetooth 機器はありませんか?	ペアリングする機器以外の電源を OFF にしてください。
音が聞こえない・音量が小さい	DT-KIKUDAKE とスピーカーは正しく接続されていますか?	スピーカー接続ジャックの接続状態を確認してください。(P.7 参照)
	スピーカー接続ジャックは汚れていませんか?	汚れや錆等を取り除いてください。
	ボリュームが最小になっていますか?	スピーカーから音が出ている時にボリュームを調節してください。 ※複数の機器を接続した場合、それぞれの機器からの音が出力されている際にそれぞれのボリューム調整が必要となります。
	スピーカーの取り付け位置は、耳の位置に合っていますか?	スピーカーの位置をできるだけ耳の中心にくるように調整してください。ヘルメットの種類によりスピーカーが耳から離れてしまう場合、スピーカー位置調整用スポンジを使用してスピーカーが耳に近づくように位置を調整してください。
	ペアリングが外れていませんか?	再度電源を入れ直すか、再ペアリング操作を行ってください。
	静かな場所でボリュームを上げていませんか? (シーチー音=ホワイトノイズ)	故障ではありません。走行中には聞こえない程度のホワイトノイズは常に発生します。
雑音がする	接続機器との距離が離れ過ぎていませんか?	本製品の通信範囲は、見通し距離約 10m (Class2) です。10m以内でご使用ください。 ※距離が 10m以内であっても使用する環境条件等により“ツツツツ”“パチパチ”等の通信音がすることがあります但異常ではありません。
FMラジオの感度が悪い	本体から出ているスピーカーケーブルをヘルメット内部に入れていませんか?	本体から出ているスピーカーケーブルは FMラジオアンテナの役割があります。 スピーカーケーブルをヘルメットの外に出すとラジオの感度が良くなります。

故障かな?と思ったら

症状	チェックポイント	解決方法
MOTO GPS RADERと同時に使用時に雑音がする	MOTO GPS RADER以外のBluetooth機器をペアリングしたことありますか?	<ul style="list-style-type: none"> 本製品に使用する以外のBluetooth機器のペアリング情報が残っていると、安定した状態で使用することができません。ペアリング情報のリセットを行ってから再ペアリングをしてください。(P12参照) 使用する周囲の環境等により、多少の雑音が入ることがあります。
音楽を聴いている時MOTO GPS RADARの警報が鳴り音楽が一時的に途切れる	音楽を聴いている際に、HFPプロファイルを使用したレーダーやナビの音声が割り込みした後、一時的に音楽が途切れるのは異常ではありません。	
音楽再生/停止などの操作をした時、音声案内が出ない。	ボタンを間隔を置かずに連続で操作していませんか?	ボタンを音声案内が出る前に連続で早く操作すると音声が間に合わず、音声案内が出る前に作動することがあります。音声案内を確認しながら次の操作をしてください。
音楽再生/停止などボタン修正をすると雑音が入ったり音声案内の音量が変化することがある	接続する機器の種類や使用する環境等によりボタン操作時雑音が出たり音声案内の音量が変化することがあります、異常ではありません。	

レシーバー本体仕様

電源	電源電圧	DC1.2~1.5V
	使用乾電池	単4アルカリ乾電池(1本)(別売り)
寸法	レシーバー本体寸法	83.5mm×28.3mm×21mm
	スピーカー寸法	外径φ40、厚さ10mm
基本情報	電池寿命 (アルカリ乾電池使用の場合)	定格出力 1.5Vで、約8~12時間
		スタンバイ 約96時間
出力端子	スピーカー接続端子	φ2.5、4極専用端子

FMラジオ 仕様

受信周波数	76.0MHz~108.0MHz
-------	------------------

Bluetooth 仕様

バージョン	Ver. 4.0
送信出力	Class2
最大通信距離	見通し距離約10m※周囲の環境により変化します。
対応プロファイル	HSP、HFP、A2DP、AVRCP
PINコード	「0000」

※接続するBluetooth機器が上記Bluetooth標準規格に適合していても、相手機器の特性や仕様によっては接続できない、操作方法や表示・動作が異なる。

データのやりとりができないなどの現象が発生する場合があります。

※Bluetooth関連機器の使い方については、各機器の取扱説明書をご覧下さい。

※Bluetoothは、米国Bluetooth SIG, INC.の登録商標です。

※iPhoneは米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。iPhoneの商標はアイホン株式会社のライセンスにもとづき使用されています。

※SiriはApple Inc.の商標です。

保証書 / Warranty Card

この度は当社商品をお買い上げいただきましてありがとうございます。

この商品は当社の厳密な検査を経て出荷されておりますが、万が一通常のご使用において材料または製造上の不具合に起因する故障等が起きた場合、これを無償修理させていただきます。

(以下これを保証修理といいます。) 保証修理を依頼される場合は、下記の「お客様記入欄」のすべての項目を必ず記入していただいてからお買い上げいただいた販売店へこの保証書および商品をご持参いただくか、デイトナに直接ご連絡下さい。その時、使用状況等を記入した別の用紙(形式は問いません)を添えていただくようお願い致します。

<お客様記入欄>

- ご購入年月： 年 月 日
- 保証書ご記入年月日： 年 月 日
- 商品番号：
- 商品名：
- お名前(ふりがな)
- TEL： — —
- ご住所：〒
- 使用車種：
- 年式(年モデル)
- フレームNO.:
- 使用期間(約 日間)

<店舗記入欄>

- 販売日： 年 月 日
- 店名：
- 住所：〒
- TEL：

※ご記入がない場合は、購入日を証明できるものを必ず添付して下さい。

◎お願い：

お買い上げいただいた際に販売店の方に「販売店記入欄」をご記入いただくか、使用期間、購入日を証明できるものを必ず添付してください。提示されていない場合は、いかなる理由でも保証対象外となります。

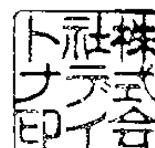
保証規定

- 1：保証期間：保証修理の期間は、お買い上げいただいた日から一年間とします。

2：お客様にお守りいただく事項：当社商品を安全快適にご使用いただくためには、お客様の正しい使用と点検、整備が必要です。次のことを必ずお守り下さい。守られていない場合は、保証修理をお断りすることがありますのであらかじめ、ご了承ください。
車両本体メーカー発行のサービスマニュアルに示された取扱い方法及び当社の取扱
(1) 説明書に示す取付け・取扱い方法にしたがって使用すること。
(2) 運行前点検および保守、整備を実施すること。
(3) 定期交換部品、及び油脂類を指定どおり交換すること。

3：保証できない事項：
(1) 次に示す事項は保証修理いたしません。
① 経時変化あるいは使用損耗による不具合。
② 一般に品質、機能上影響のない軽微な感覚的現象。
(音、振動、オイルのにじみ等)
③ 地震、台風、水害などの天災、事故、および火災に起因する不具合。
④ 煙、薬品、鳥糞、塩害等に起因する不具合。
⑤ 法令に違反する改造及び当社が認めていない改造。(適合車種以外への取付等)
⑥ 通常の注意で発見処置できたにもかかわらず、放置したことにより拡大した不具合。
⑦ 前記2「お客様にお守りいただく事項」を守らなかったこと起因する不具合。
⑧ 浸水による故障
⑨ 本体ユニット以外の消耗品
(2) 次に示す費用は負担いたしません。
① 発生した不具合によって破損した本品以外の部品代金、修理工賃、整備等の費用。
② 商品を検査のためお預かりする際に発生する脱着工賃等。
③ お車を使用できなかった事による不便さ及び損失等。(電話代、レンタカーダイ、運送代、機会損失等。)
④ この保証書に示す以外の費用、補償等。

株式会社 デイトナ
静岡県周智郡森町一宮 4805



東証JASDAQ上場
株式会社

デイトナ

〒437-0226 静岡県周智郡森町一宮 4805
URL: <https://www.daytona.co.jp>

◎デイトナ商品についてのご質問、ご意見は
「フリーダイヤルお客様相談窓口」0120-60-4955まで